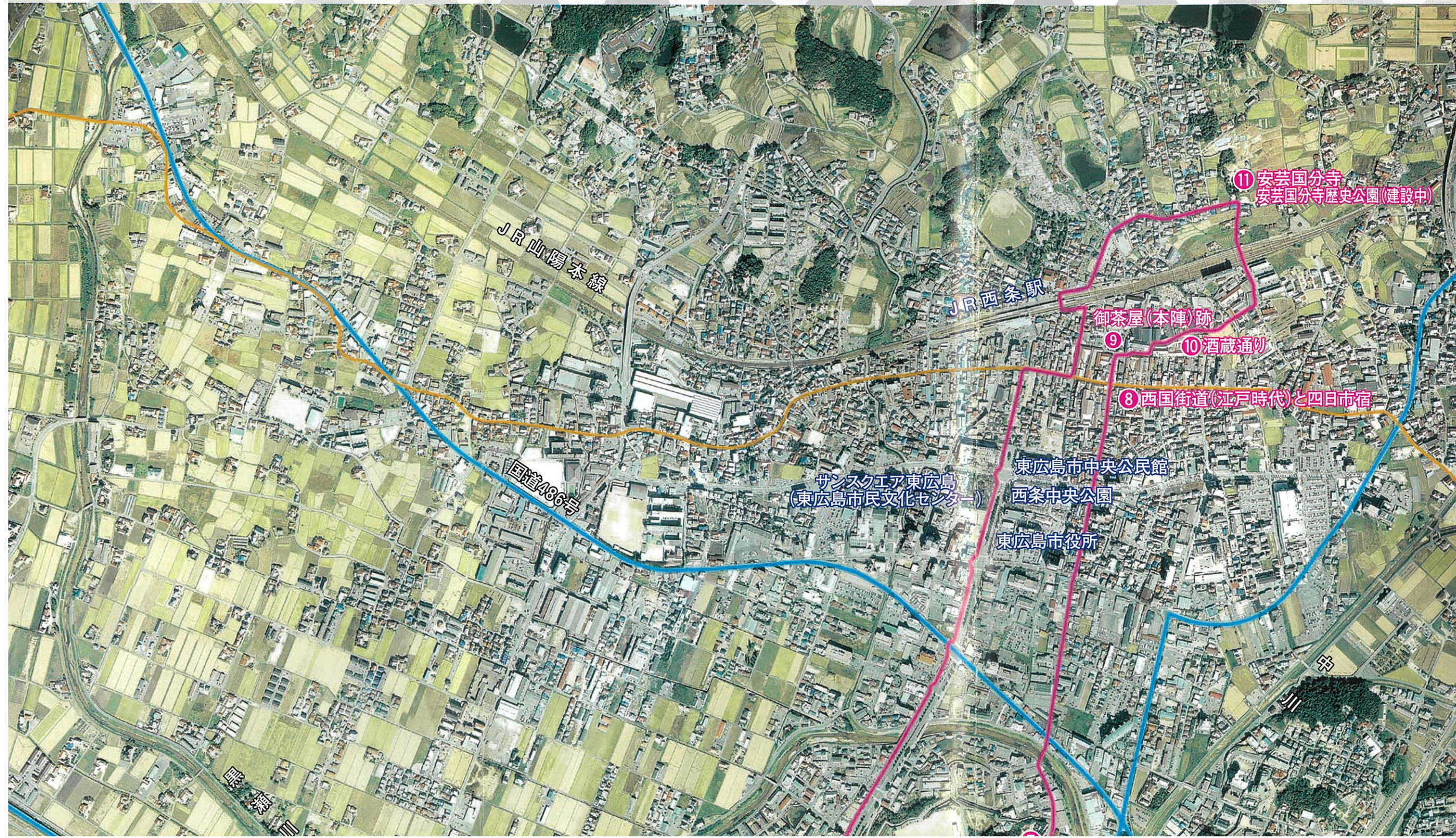




安芸の西条散策マップ

—歴史と文化の道—



11 安芸国分寺
安芸国分寺歴史公園(建設中)

JR山陽本線

JR西条駅

9 御茶屋(本陣)跡

10 酒蔵通り

8 西国街道(江戸時代)と四日市宿

国道486号

サンスクエア東広島
(東広島市民文化センター)

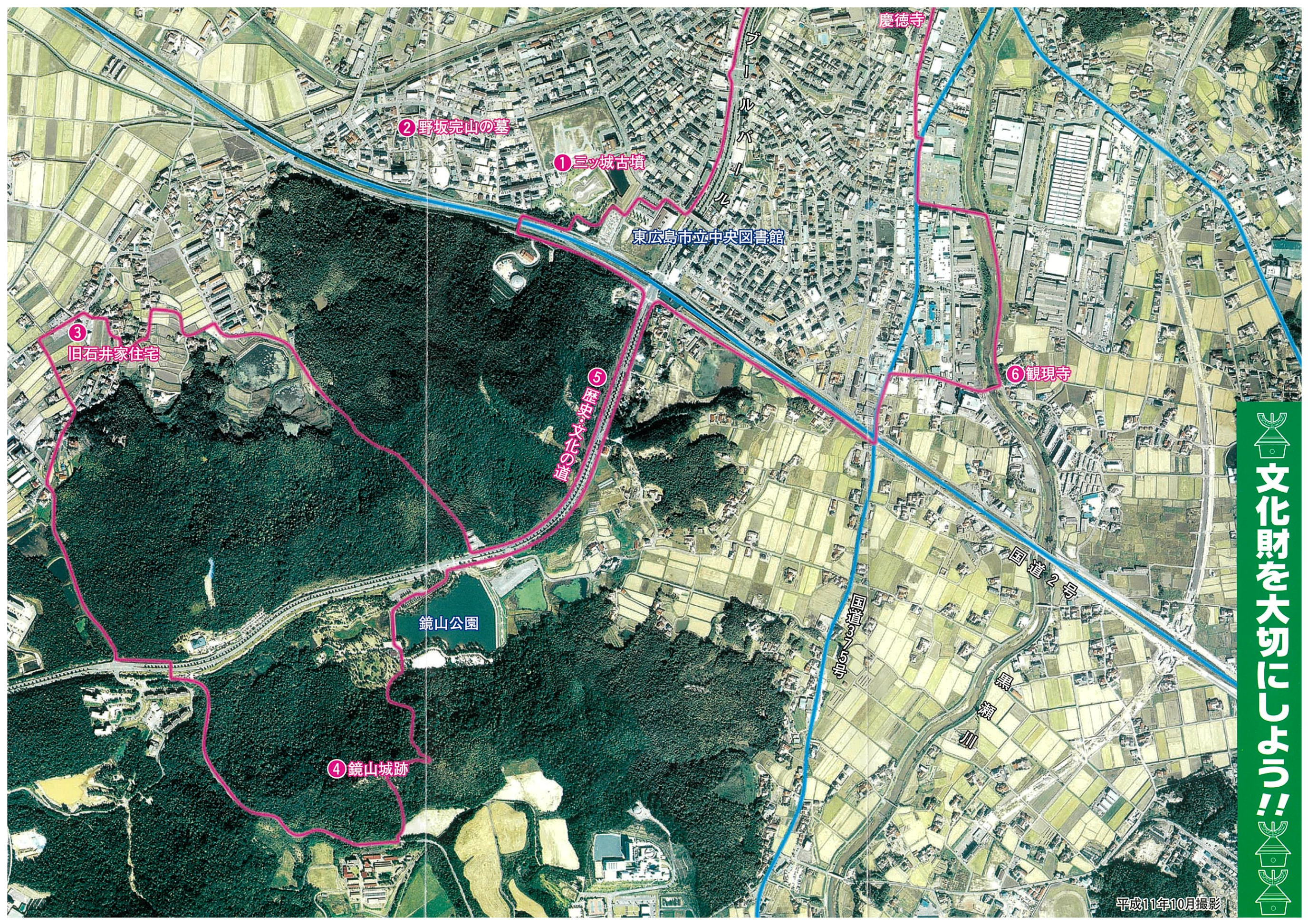
東広島市中央公民館

西条中央公園

東広島市役所

黒瀬川

川



慶徳寺

② 野坂完山の墓

① 三ツ城古墳

東広島市立中央図書館

⑥ 観現寺

⑤ 歴史・文化の道

③ 旧石井家住宅

鏡山公園

④ 鏡山城跡

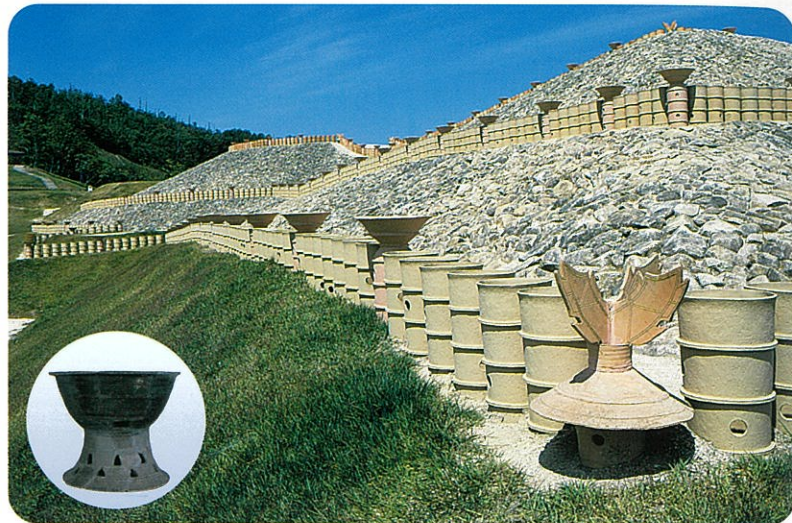
国道2号

国道1号

黒瀬川

文化財を大切にしよう!!!

平成11年10月撮影



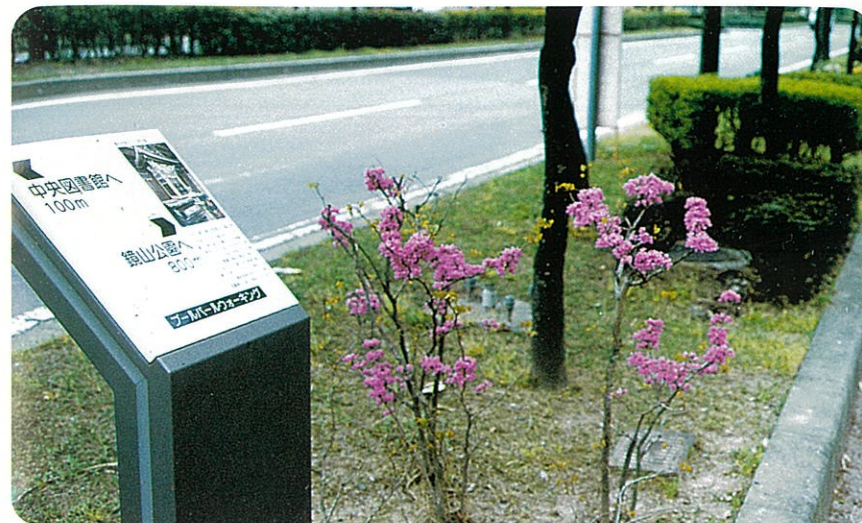
①三ッ城古墳

三ッ城古墳は、前方後円墳、円墳など3基の古墳からなっており、昭和57年6月3日に、国の史跡に指定されています。中でも、第1号古墳は、県内最大規模の前方後円墳で、全長約92mあります。5世紀前半に造られた古墳で、3段に築かれ、各段には円筒形や朝顔形など、約1,800個の埴輪が立ち並んでいます。後円部には、3基の埋葬施設があります。



②野坂完山の墓

蓮華寺跡に建てられた墓碑で、昭和29年1月26日に県の史跡に指定されています。13回忌に当たる嘉永6(1853)年に門人によって建立されました。賀茂郡寺家村に生まれ、家業の医者を継いでいます。貧しい人の無料診療や伝染病などの予防薬の配布など、地域社会の福祉向上にも力を尽くしています。生涯を綴った『鶴亭日記』は、文化史や社会経済史の貴重な史料となっています。



⑤歴史・文化の道

国道2号線から鏡山公園入口まで約900mの間の、ブルバールの両側の歩道に、平成12年11月に開催された、第15回国民文化祭に併せて、20基のモニュメントが設置されました。現在、モデルウォーキングコースとして、市民にも親しまれており、モニュメントを辿れば、市内の歴史や文化を写真や説明を通して、概観することができます。



⑥観現寺

観現寺には、昭和53年11月15日に市の史跡に指定された宝篋印塔、平成4年10月29日に県の重要文化財に指定された厨子があります。厨子は、1間厨子と呼ばれるもので、小さな須弥壇の上に安置されており、15世紀後期の造立と考えられます。宝篋印塔は、笠の隅飾突起や基礎の格狭間の形態は、鎌倉時代の特徴をよく備えています。塔身との組合せは異なっています。



⑦慶徳寺

慶徳寺には、平成8年6月19日に市の重要有形文化財に指定された銅



⑨御茶屋(本陣)跡

大名が休憩、宿泊した場所で、明治時代になると建物は取り壊されて、賀茂郡役所が建てられました。慶応元(1865)年の絵図によると、敷地は、東西38間、南北36間で、周囲は築地で囲まれており、外側四隅と築地内には番所がありました。建物は、部屋数29、畳数214畳半を数えました。現在、石垣の一部が残っており、また、正門は復元されて、昔の面影をみることができます。



⑩酒蔵通り

兵庫の灘、京都の伏見とともに、日本の三大銘醸地として知られる酒都西条は、市街地に酒蔵が集積した全国的にも希な醸造地です。なまこ壁は、雨風による漆喰壁の剥落を防ぐために、建物の隅や壁の腰の部分に平たい瓦を貼り付けて補強したもので、海鼠に似ていることから名付けられたと言われています。新酒ができる季節には、通りに立ちこめる匂いで、ほろ酔い気分になります。





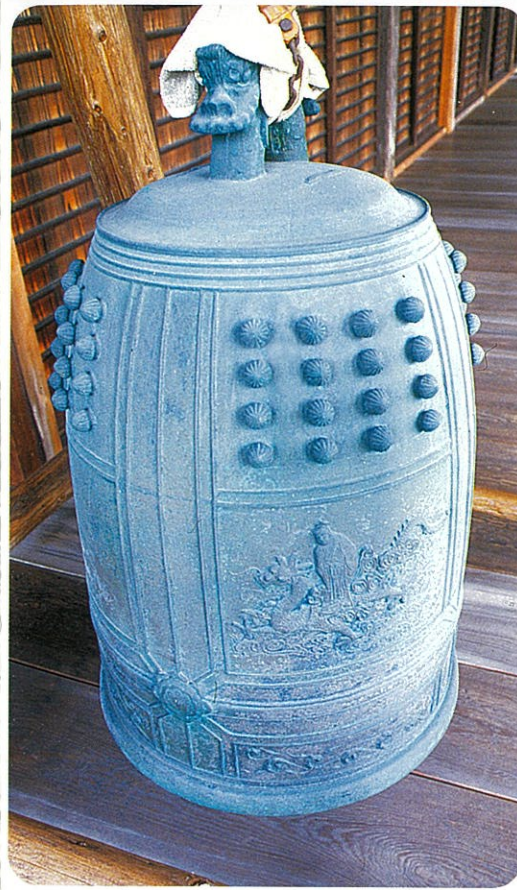
③旧石井家住宅

西国街道の宿場町である西条四日市に建てていた大規模な町家で、平成5年3月19日に市の重要有形文化財に指定され、平成9年に西条町下見の現在地に移築復元されました。建物構造は、妻入の入母屋造で、正面から見ると、屋根の形が甲冑の兜に似ていることから、「兜造」とも呼ばれています。一般的な町家と異なり、座敷を表通り側に配置しており、古い形式を継承しています。



④鏡山城跡

南北朝時代には築城されたと考えられる周防大内氏の山城で、平成10年1月14日に国の史跡に指定されています。大内氏は、大永3(1523)年に落城するまで、ここを政治的拠点と位置づけており、城の管理規則である「安芸国西条鏡城法式条々」を制定しています。城内には、「御殿場」「中のダバ」「馬のダバ」などと呼ばれる郭や、畝状堅堀群、井戸跡などの遺構が良好に残っています。



⑦慶徳寺

慶徳寺には、平成8年6月19日に市の重要有形文化財に指定された銅鐘があります。天和3(1683)年に奉納されたもので、芸陽海田住植木六郎兵衛尉藤原直増の作によるものです。植木氏は、代々船越村の庄屋役を勤めながら、9代にわたって銅鐘をはじめとする鑄造品を製作しており、後に広島藩内の筆頭鑄物師としても活躍しました。美術工芸的にも貴重なものです。



⑩安芸国分寺

奈良時代に全国に建立された国分寺は、安芸国では西条に建立され、昭和11年9月3日に国の史跡に指定されています。これまで、金堂跡や講堂跡などが確認され、「天平勝宝2年」銘の木簡(荷札)や「安居」など仏教行事が墨書された土器が出土しています。また、現在の真言宗國分寺には、市の重要有形文化財の仁王門、護摩堂、薬師如来坐像、県の重要文化財の木造薬師如来坐像があります。



⑧西国街道(江戸時代)と四日市宿

田万里村(竹原市田万里町)から上三永村(東広島市)に入り、日向一里塚、歌謡坂一里塚を過ぎると、やがて四日市宿に到着します。現在のJR山陽本線西条駅周辺が四日市と呼ばれ、江戸時代の終わり、慶応元(1865)年頃に描かれた「宿駅四日市町並絵図」によると、東は土与丸村の境である古川まで、西は西条東村との境である半尾川までの東西約870mの範囲とされています。

文化財は私たち共有の貴重な財産です

- 1 文化財の近くや火気厳禁の区域では、たばこやたき火は慎みましょう。
- 2 文化財を汚したり、傷つけたりないようにしましょう。
- 3 写真撮影を行う場合は、所有者、管理者の許可を得てからにしましょう。また、ストロボの使用は遠慮しましょう。
- 4 平素公開していない文化財を訪ねる際には、あらかじめ所有者、管理者に連絡しましょう。

永く守り伝えられてきた文化財を
次世代へ大切に引継ぎましょう。